

## ランチョンセミナー2

# 禁煙対策、「これまで」と「これから」

座長 猪 股 工 矣

平成22年初頭ある製薬会社から学会のランチョンセミナーの演者選考と司会を依頼された。平成18年日本循環器学会禁煙セミナーですばらしい講演を聞き感銘を受けた産業医科大学産業生態科学研究所 大和浩教授を思い出し講演を依頼した。先生は粉塵測定機を使って初めて新幹線内の受動喫煙の実態調査を行い「喫煙室があっても車内分煙は不可能で受動喫煙防止には全車禁煙が必要である」ことを証明し、その結果東海・山陽以外の新幹線では喫煙車両が作られなかった。又、厚労省のたばこ関係の数多くの委員会にも関係されており現在は兵庫県受動喫煙防止対策検討委員会のメンバーでもある。昨年TV番組『たけしの本当は怖い家庭の医学』にも出演され一般の方にも知られるようになった。学会前日は徳島で開催中の

禁煙科学会の基調講演がある超多忙な時期ではあったが快くランチョンセミナー2で演題『禁煙対策、「これまで」と「これから」』ので講演していただいた。副流煙は18m先でも検知できる等の調査研究結果を分かり易く説明され、たばこの危険性や有害性を満員の参加者は驚きをもって分かっていただけたと思う。私はこの様な講演会を通じて多くの人々に禁煙活動の重要性を理解してもらいたいと常々考えていたので、今回プライマリ・ケア学会で機会を与えていただいた関係者に心から感謝している。

